

原発事故の広域避難についての投稿に

お答えします

### 避難対策の実効性向上を図る

島根県原子力安全対策課長

出雲 昌浩

昨年12月の本欄に「原発事故の広域避難に疑問」「原発避難で解決すべき課題」としてご意見をいただきました、ありがとうございます。

島根原発に重大事故が起きた際の広域避難計画の在り方を問う投稿「原発事故の広域避難に疑問」(安達進さん、昨年12月8日掲載)、「原発避難で解決すべき課題」(西尾茂さん、同25日掲載)への回答です。

風向き等による避難への影響はないものと考えています。

く抑えられるとされてい  
ますが、事故のリスクは  
ゼロになるわけではあり  
ません。

このため、島根県では  
住民の避難対策の実効性  
の向上に取り組んでいる  
ところです。

万が一原子力災害が起  
きた場合には、原発から  
5km圏内の松江市鹿島町

の住民の方は、放射性物  
質放出前から避難するこ  
ととしておりますので、

耐震化等の整備を着実に  
進めていくこととしてい  
ますが、避難ルートが地  
震などにより使用できな  
い場合や、放射性物質放

出後、風向きにより放射  
線の実測値が高い場合な  
どは、設定している代替  
ルートに変更することと  
してあります。

さらに、中国5県のバ  
ス・タクシー協会と協定  
を締結して、原子力災害  
時の避難車両の確保に努  
めているところです。

避難対策は、一定の基  
準さえ満足すれば良いと  
いうものではなく、不断  
の見直しや改善を図って  
いくことが必要であり、  
また、自治体だけでは対

応が困難なこともありま  
すので、今後とも国と一  
緒に課題に取り組み、実  
効性を向上させていきま  
す。